

さて、この話、どこかで聞いた覚えはないでしょうか（もう一度こちらの図をご覧ください）。

先ほど、ローターアクトの目標を達成するための図を説明しました。この図の中心にあるカッコ付きにしています「企画力・広報力・行動力」というものがあります。これに「～を養う中で生まれる、会員間の親睦」という文字を付け足してみます。そうすると、ローターアクトの標語「フェローシップ・スルー・サービス（奉仕を通じた親睦）」も、この図で表されることとなります。そしてこれが、ローターアクトにおける一番の旨みであるとも私は思います。

冒頭でお話しましたが、私は入会当初、ホントにこの会が嫌いでした。それはなぜかという、入会当初、私の性格は、人見知り・口下手・人前が苦手ーの3点セットだったからです。

今、口下手と人前が苦手ーはあまり直っていませんが、人見知りというのだけは、克服したと思います。

#### ●人との出会い

こうなったのは、入会後にある1人の人間と出会ったことがキッカケでした。その人との出会いがなければ、ここでこうやって話していることも無かったと思います。ある意味、それまで生きてきた中では、人生観が180度変わったような出会いでした。人間、少なからず誰にでもこういったインパクトの強い「出会い」というものはあると思います。私は、たまたまこの時だったんですが、できれば今後もしもな出会いができればなあと思います。そのためには、どれだけの人と出会うことができるか、だと思えます。ローターアクトでは、ホントに多くの人と出会うチャンスが山のようにあります。それも、上質なものが。それも、様々な種類のものが。

私も入会してからこの5年で、大変大勢の方とお会いすることができました。先日、このローターアクトで何人くらいの人と出会ったのかなと、名刺の数を数えてみると約500枚ありました。名刺交換を出来なかった人も入れるとすごい数字になると思います。

もちろん、この中から深い付き合い、浅い付き合いというはあるのですが、深い付き合いになった方は、今では一生付き合い合える友であり、仲間でありです。前回仕事で福岡に行った時も、一度名刺交換しただけのローターアクターに電話をしてみました。福山RACのメンバーというだけで、その日の夜たくさんさんのローターアクターが集まってくれました。また、友人以外にも 様々な人脈というものを築くことができました。それらも踏まえて、全てが私の宝物となっています。

そんな私の想いもあり、今年度の地区の運営方針はターゲットを「あゆみ～歩幅を合わせよう～」としています。今まで話した内容と重複しますので方針を要約しますと、アクトではさまざまな出会いがあります。その一つ一つを大事にし、仲間と共に目標に向かって一緒に歩いていこう。道に迷っている仲間がいれば手を差し伸べ、時には手をつなぎ歩いてみよう！といった意味合いです。

#### ●活動の実例

このあたりで、実際どのような活動をしているのかということ、福山ローターアクトクラブの実例を元にご紹介してみようと思います

5大奉仕活動にのっかって、いくつか主な活動をご紹介します。

はじめに、国際奉仕活動です。なかなか国際奉仕というのを何をしてよいか分からなくなりますが、国際理解と考える様々な活動をしています。例えば、異文化交流の一貫で、韓国人から見た日本の印象を語ってもらったり、フリーマーケットをおこない売上金を募金したりしています。

次に社会奉仕活動ですが、主なものとして清掃活動が挙げられます。①福山駅周辺の清掃活動②福山市がおこなう全市一斉清掃など参加③知的障害者の方の施設、ゼノ少年牧場のもちつき大会のお手伝いなどを行っています。

専門知識開発では、会員個々の様々な知識能力の向上のため、会員が興味があることに関して様々な勉強会を企画しています。身近な法律と題して、ロータリアンに依頼しての卓話や、当時郵政民営化がおこなわれるという事でメンバーに郵便局の局長が在籍していた為、郵政についての講演もお願いしました。地産地消と題して委員会メンバーが調べたことの発表もしました。

クラブ奉仕活動では、クラブ内外会員間の親睦を目的として主に親睦会を企画しています。年に1度行う「セミナ～」これは元々福山ロータリーのロータリアンがおこなっていたものをアクトが継承しました。パーベキュー、流しそうめん、花火などを行います。ちなみにそうめん流しに使用する竹は現役メンバーが竹林から切り出し、二つに割って使用しています。

財務活動では、福山の祭りのばら祭りに参加し、カレーやアイスクリームの販売をおこなっています。

そして、企画・立案・実行について、福山RAC創立35周年記念式典を例に説明させていただきます。企画としまし35周年記念式典をおこなう為に実行委員会を立ち上げ、ロータリアンも交え、夜に集まり話し合いを重ねました。立案実行委員会でアイデアを出し合い、プログラムを立案し可能かどうかの検討をしました。約1年かけ準備をし、無事本番を迎えることが出来ました。総勢120名参加していただき、当日スタッフとしてメンバーは7名しかいない中、成功させることができたことにより一人ひとりの自信になりました。自分たちに足りないものも分かりました。ロータリアンを交え話合いを重ねた結果ロータリアンとの距離が縮まりました。メンバー同士の絆も深まりました。

#### ●地区の現状

少しだけ地区の状況について触れてみたいと思います。

現在、地区内にはローターアクトは 6クラブあり、約70名前後の会員が所属しています。はっきり言って、クラブ数、会員数ともに減少しています。私の入会当初から比べてもクラブ数で3、会員数で約30名余り減少しています。当地区のローターアクトの会員数においては 「なんとかしなければならぬ」というのが現状です。

もし今日おこしの方の中に18歳～30歳までの若者をご存知の方がおられましたら、ローターアクトクラブという団体を、是非、次世代をになう若者に教えてあげてください。こんなにも魅力あり、自信の成長につながるアクトを知らないのはとてももったいないことだと思います。よろしく願いいたします。

ご清聴、ありがとうございました。

2010年 7月22日(木)

第 4号

本日のプログラム

会計報告/会員卓話

次回例会

7月29日(木) 18:30～ 三次商工会議所

次回プログラム予告

夜間例会

例会記録・・・7月15日

- 点 鐘・・・・・・中川筆之 会長
- ソング・・・・・・「君が代」「それでこそロータリー」
- ゲスト・・・・・・後藤和幸 様（福山ローターアクトクラブ 地区ローターアクト代表）



会長挨拶 ■中川 筆之 会長



一週間のご無沙汰です。昨日まで近年に無い大雨が降り、県内各地で浸水被害が出たようです。三次市内も何カ所かの被害が報告されました。

浸水の原因は「河川改良工事をするときは、時の最高時間雨量を想定して設計する」そうですが近年の降雨量が設計雨量を大幅に上回るそうです。想定最高雨量30ミリは、バケツをひっくり返したような、と表現されますが、昨日の雨量は時間100ミリと言われていました。予想雨量の3倍も降り注ぐわけですから、排水が間に合わず浸水被害が起こるのも無理からぬ話です。

雨の降り方の異変は地球温暖化が一因ではないか、とよく言われています。地球の気候は、それが一度動き出すともう止めることは出来ないそうです。そうならないために、日々の温暖化防止活動とかエコ運動を通じて、少しでもこの地球にかかる負荷を減らして子々孫々にこの美しいと言われる星を残そうという活動が、世界的に広く浸透しつつあるそうです。我々も出来る範囲で協力いたしたいものです。

本日は以上です。

**幹事報告** ■菅原 暢之 幹事

- 来信文書
- 夜間例会出欠表

**出席報告** ■明山 晃映 委員長

7月1日の出席報告					本日（7月15日）の出席状況			
会員数	出席者	Make-up	出席免除者	出席率	会員数	出席者	出席免除者	欠席
42	26	3	6	78.57%	42	27	7	8

Make-up 小田(大) (R財団地区セミナー)・伊藤(ローターアクト)・増田(R友の編集委員会)

- 1年連続皆出席 伊藤会員
- 2009-10年度皆出席



**SAA報告** ■属 吉行 SAA

スマイル7,000円

灘岡直隆	後藤様、本日の卓話、大変楽しみにしております。ありがとうございます。また、伊藤ローターアクト委員長ありがとうございます。
伊藤 將	本日、地区ローターアクト地区代表をお招きしました。宜しくお願ひします。
1年皆出席	中川筆之・小田大治・灘岡直隆・佐々木智
入会月	藤谷博義

**プログラム**

**ゲスト卓話**



**■福山ローターアクトクラブ  
地区ローターアクト代表  
後藤和幸氏**

みなさん、こんにちは。福山ローターアクトクラブの今年度地区ローターアクト代表を務めております後藤と申します。

私は生まれも育ちも広島県福山市です。年は28歳です。仕事は父の営む看板屋でデザイン・製作・現場・営業などを行っています。私がローターアクトと出会ったのは24歳の時でした。

私の父親は丸ノ内RC会員で、昔からの友人であるロータリアンの紹介で入会しました。理由はその方の顔を立てるためでした。入会当初は例会に行くのも嫌でした。ただ、ある一つの出会いがキッカケで、そこから考え方が変わり、現在ではこういう役もおおせつかり、入会から約5年が経過したというところです。ほんとに多くの友人に協力してもらい助けられ、様々な貴重な経験をさせて頂きました。

さて、本日は、ローターアクト活動の目的について私の経験したことを基にお話できたらと思います。

●ローターアクトクラブとは  
ローターアクトの目的及び目標は、ローターアクト定款及びローターアクト方針声明に次のように書かれています。

1. 専門技術及び指導能力を開発すること
2. 他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有能な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること
3. 若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること
4. 提唱ロータリークラブと協力して活動にあたる機会を提供すること
5. ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること

これを言い換えると、1・2番はリーダーシップの育成と専門知識の開発、3番は社会奉仕と国際奉仕、4番はロータリーとローターアクトの協調性、そして5番はロータリアンの会員確保といったところでしょうか。

●ローターアクトの目的  
ローターアクトの真の目的は、個々の指導能力、いわゆるリーダーシップの育成この一言に尽きると思います。

図を用意しました。ローターアクト活動を、3大要素に分けたものです。四角枠の中がローターアクトの活動となります。3大要素とは「ヒト・モノ・カネ」であり、これをローターアクトに置き換えると、ヒトは適正会員の確保、モノとは目標に沿った適正な活動(いわゆる国際奉仕、社会奉仕、専門知識開発、クラブ奉仕、財務の5大奉仕活動)です。そして、カネとは、活動資金の確保です。この3大要素に対して、企画力、広報力、行動力を養っていきます。

そして、それら全てについて、提唱ロータリークラブ

が包括的に支援することで、先ほど述べたローターアクトの目的及び目標が達成でき、会員個々のリーダーシップ向上、ひいてはローターアクトクラブの質的向上に繋がっていきます。

ここから、少し違った角度で私の考え方も含めながら、お話ししていこうと思います。

●フェロウシップ・スルー・サービス  
ローターアクトにも、ロータリーと同じように「標語」というものがあります。ローターアクトの標語は「フェロウシップ・スルー・サービス(奉仕を通じた親睦)」です。奉仕活動の中で親睦が生まれる、親睦なくして奉仕はできない、など様々な意見はありますが、私なりの解釈です

先ほど説明したとおり、ローターアクトは3大要素に対して様々な企画を立案し、アクションへと移していきます。特に、5大奉仕活動というのは普段の例会が主になりますので、月に最低2回必ず行います。その例会を行うためには、委員会活動というものが不可欠になります。

その中で、委員数人と話し合い、様々な案から1つの結論を導き出していきます。この中で重要なことが、人と人が面と向かって話し合うということです。要は、本物のコミュニケーションです。ローターアクトというものは、大小様々な例会や行事の、立案から実施までのシミュレーションの繰り返しです。

入会すると、自クラブの1例会から始まり、行事や国際・社会奉仕プロジェクト、地区を運営するメンバーになると、様々な研修や大会の組み立てなどがあります。また、やろうと思えば、ホントにやる気さえあれば、全国規模のもの、世界規模のものも可能となります。

そして、この根底には5大奉仕活動があります。この時、欠かせないものがヒト、すなわちローターアクトの会員仲間です。

先ほどと同じように、まず始めに自クラブのメンバーに出会い、地区の研修などで他のクラブのメンバーと出会う。また、全国のメンバー、世界各地のメンバーにも出会うことができます。そして、出会った人と少なからず信頼関係を築き上げることができます。

もちろん、入会してすぐに…というわけにはいきません。ホントに小さな小さな信頼関係の積み上げです。まずは委員会で、そして自クラブの中で、そして他のクラブと、地区と…。自分の周りにいる仲間もおのずと増えていきます。

この過程で見えてくるものは、今まで話したコトバに置き換えると、ローターアクト内でのコミュニケーションの繰り返し、また、信頼関係の積み上げ。これが、フェロウシップ・スルー・サービス(奉仕を通じた親睦)ではないかと考えます。感覚的には、奉仕と親睦の融合といったイメージではあります。そして、その過程を経て生まれるもの、それが指導能力(リーダーシップ)となります。